

別表

障害高齢者の日常生活自立度

ランク	判断基準
B	<p>屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2. 介助により車いすに移乗する
C	<p>1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りもうたない

ランクBにはB1、B2、ランクCにはC1、C2のそれぞれ2段階あります

認知症高齢者の日常生活自立度

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
Ⅲ	<p>日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難が見られ、介護を必要とする</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 日中を中心として上記の状態が見られる b. 夜間を中心として上記の状態が見られる 	<p>着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。 やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等</p>
Ⅳ	<p>日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする</p>	
M	<p>著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする</p>	<p>せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等</p>

ランクⅢにはⅢa、Ⅲbの2段階あります